

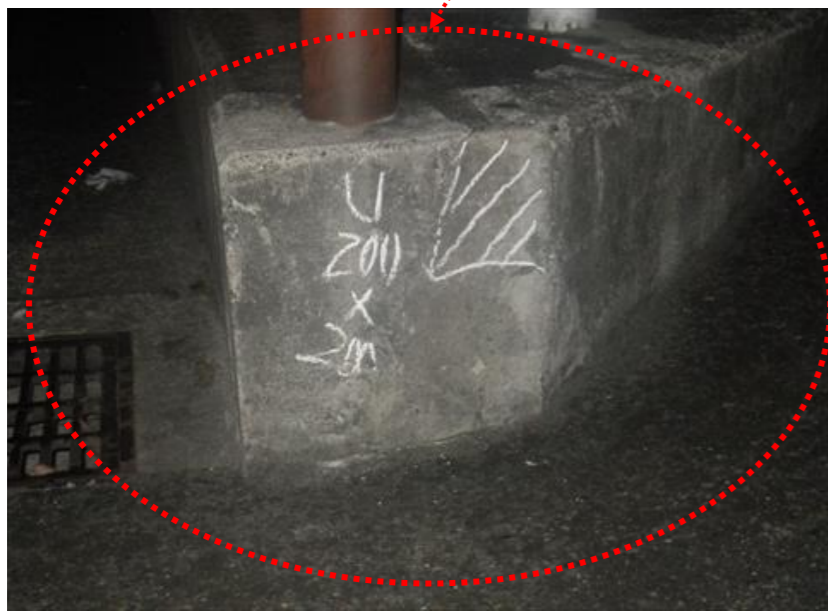
詳細点検調書（その7） 損傷状況写真

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲
								所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

写真番号	1			写真番号	2			写真番号	3		
位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号	導流部A	部材記号	RWa2
損傷種類	④	損傷評価	C	損傷種類	③、④	損傷評価	C、C	損傷種類	③	損傷評価	C
メモ	うき			メモ	剥離・鉄筋露出、うき			メモ	剥離・鉄筋露出		

・撮影時には、黒板を入れる方が望ましい

・1つの写真で複数の損傷を表現しているときは、すべてを表記する



写真番号	4			写真番号	5			写真番号	6		
位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号	導流部A	部材記号	RWa2
損傷種類	⑤	損傷評価	C	損傷種類	⑭	損傷評価	C	損傷種類	⑤	損傷評価	C
メモ	コンクリート補強材などの損傷			メモ	目地の損傷・漏水			メモ	前写真の接写		

・写真5のアップが写真6となっているが、必ず、写真番号は連番としておくこと。



詳細点検調書（その7） 損傷状況写真

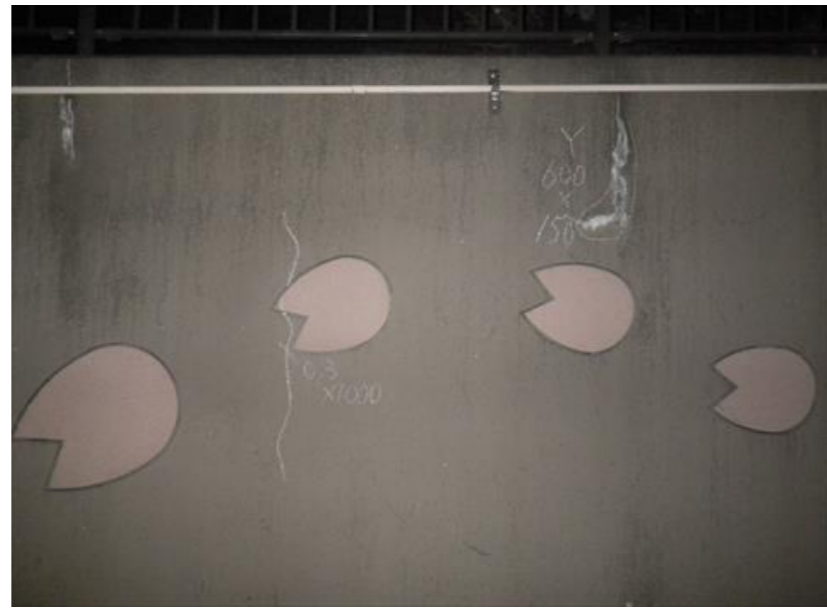
管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線			監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲	終	◎◎区◆◆町●-▲

写真番号	7			写真番号	8			写真番号	9		
位置記号	導流部A	部材記号	RWa1	位置記号	導流部A	部材記号	RWa1	位置記号	導流部A	部材記号	RWa2
損傷種類	⑩-2	損傷評価	E	損傷種類	③	損傷評価	C	損傷種類	②	損傷評価	D
メモ	その他（落書き）			剥離・鉄筋露出			メモ			漏水・遊離石灰	

・分類項目のある損傷は、必ず枝番号も付すこと。



写真番号	10			写真番号	11			写真番号	12		
位置記号	導流部A	部材記号	LWa2	位置記号	導流部A	部材記号	LWa2	位置記号		部材記号	
損傷種類	⑤⑤⑤⑤⑤	損傷評価	C	損傷種類	⑤⑤⑤	損傷評価	C	損傷種類		損傷評価	
メモ	コンクリート補強材などの損傷			メモ			コンクリート補強材などの損傷			メモ	



詳細点検調書（その7） 損傷状況写真

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲
								所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

写真番号	13			写真番号	14			写真番号	15		
位置記号	交差部B	部材記号	RWa2	位置記号	交差部B	部材記号	RWa2	位置記号		部材記号	
損傷種類	⑭	損傷評価	C	損傷種類	⑮	損傷評価	C	損傷種類		損傷評価	
メモ	目地の損傷・漏水（目地材の劣化）			メモ	コンクリート補強材などの損傷			メモ			



・位置記号が変わる場合は、  
できればページを変える方がよい。  
それにより、空白番号が生じた場合は欠番とする。

写真番号	16			写真番号	17			写真番号	18		
位置記号		部材記号		位置記号		部材記号		位置記号		部材記号	
損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価	
メモ				メモ				メモ			

詳細点検調書（その8） 損傷結果一覧（構造物・路面・排水）

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線			監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日	
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起	◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲		終	◎◎区◆◆町●-▲

番号	位置記号	部材記号	損傷番号	損傷部材	損傷種類	損傷評価	定量的値	要因（推定）	損傷情報	対応区分		
										緊急対応	補修対応	経過観察
1	導流部A	RWa2	④	Co	浮き	c	200 × 200	経年劣化	コンクリートに浮きが見られる。 ・対策判定が一目でわかるように記入			iii
2	導流部A	RWa2	④	Co	浮き	c	250 × 300	経年劣化	コンクリートに浮きが見られる。			iii
3	導流部A	RWa2	③	Co	剥離・鉄筋露出	c	50 × 100	経年劣化	コンクリートに剥離が見られる。			iii
4	導流部A	RWa2	③	Co	剥離・鉄筋露出	c	500 × 100	経年劣化	コンクリートに剥離が見られる。	・1つの写真で複数の損傷を表現しているときは、すべてを表記する ・これらと調書（その7）の記載が一致すること。		iii
5	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	150 × 900	経年劣化	仕上げ珪砂に浮きが見られる。			iii
6	導流部A	RWa2	⑭	Co	目地の損傷・漏水	c	L = 1700	経年劣化	目地の開きが見られる。	・損傷の種類に分類項目が設定されている場合は枝番号として記入すること。		iii
7	導流部A	RWa2	⑩-2	レンガ	その他（落書き）	e		外的要因	壁に落書きが見られる。			ii
8	導流部A	RWa1	③	仕上げ 珪砂	剥離・鉄筋露出	c	250 × 350	経年劣化	仕上げ珪砂に剥離が見られる。			iii
9	導流部A	RWa1	②	レンガ	漏水・遊離石灰	d	150 × 100	水の浸透	壁に遊離石灰が見られる。		ii	
10	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	500 × 100	水の浸透	仕上げ珪砂に遊離石灰が見られる。			iii
11	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	0.2 × 600	経年劣化	仕上げ珪砂にひび割れが見られる。 コンクリートのひび割れは確認できない。			iii
12	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	0.2 × 400	経年劣化	仕上げ珪砂にひび割れが見られる。 コンクリートのひび割れは確認できない。			iii
13	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	0.2 × 800	経年劣化	仕上げ珪砂に浮きが見られる。			iii
14	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	0.2 × 200	経年劣化	仕上げ珪砂にひび割れが見られる。 コンクリートのひび割れは確認できない。			iii
15	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ 珪砂	コンクリート補強材 などの損傷	c	0.2 × 700	経年劣化	仕上げ珪砂にひび割れが見られる。 コンクリートのひび割れは確認できない。			iii

詳細点検調書（その8） 損傷結果一覧（構造物・路面・排水）

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲
								所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲
								所在地	終 ◎◎区◆◆町●-▲

番号	位置記号	部材記号	損傷番号	損傷部材	損傷種類	損傷評価	定量的値	要因（推定）	損傷情報	対応区分		
										緊急対応	補修対応	経過観察
16	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ モルタル	コンクリート補強材 などの損傷	e	0.3 × 1000	経年劣化	仕上げモルタルにひび割れが見られる。 コンクリートのひび割れは確認できない。			iii
17	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ モルタル	コンクリート補強材 などの損傷	c	700 × 100	水の浸透	仕上げモルタルに遊離石灰が見られる。			iii
18	導流部A	RWa2	⑤	仕上げ モルタル	コンクリート補強材 などの損傷	c	100 × 450	水の浸透	仕上げモルタルに遊離石灰が見られる。			iii

・1つの写真で複数の損傷を表現しているときは、すべてを表記すること。  
 ・これらと調書（その7）の記載が一致すること。

詳細点検調書（その8） 損傷結果一覧（構造物・路面・排水）

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線			監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日	
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線	所在地	起	◎◎区◆◆町●-▲
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲		終	◎◎区◆◆町●-▲

番号	位置記号	部材記号	損傷番号	損傷部材	損傷種類	損傷評価	定量的値	要因（推定）	損傷情報	対応区分		
										緊急対応	補修対応	経過観察
19	交差部B	RWa1	⑭	仕上げ モルタル	目地の損傷・漏水	C	L = 2700	経年劣化	目地の劣化が見られる。			iii
20	交差部B	RWa2	⑮	仕上げ モルタル	コンクリート補強材 などの損傷	C	250 × 500	経年劣化	仕上げモルタルに浮きが見られる。			iii

・前ページから位置記号が変われば、  
改ページを行う。

詳細点検調書（その9） 損傷結果一覧（附属物・上屋施設・その他）

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲
								所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

・本調書は附属物系に特化した調書であるので、（その8）の調書の留意事項を考慮の上、記入すること。

番号	位置記号	部材記号	損傷番号	損傷部材	損傷種類	損傷評価	定量的値	要因（推定）	損傷情報	対応区分		
										緊急対応	補修対応	経過観察
1	導流部A	附属物	⑪	防護柵	変形・欠損	c	1	外的要因	防護柵に変形が見られる。 ・対策判定が一目でわかるように記入			
2	導流部A	附属物	⑪	防護柵	変形・欠損	c	1	外的要因	防護柵に変形が見られる。			iii
3	導流部C	附属物	⑪	防護柵	変形・欠損	c	1	外的要因	防護柵に変形が見られる。			iii
4	導流部A	附属物	⑪	電欄管	変形・欠損	c	1	外的要因	電欄管に変形が見られる。			iii
5	導流部A	附属物	⑪	電欄管	変形・欠損	c	1	外的要因	電欄管に変形が見られる。			iii

詳細点検調書（その10） 点検時現場処置記録

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲
								所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

写真番号	7			写真番号	18			写真番号	
位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号	部材記号
損傷内容	仕上げモルタル（コンクリート補強材）の浮き			損傷内容	仕上げモルタル（コンクリート補強材）の浮き			損傷内容	
処置理由	打音検査で落下の恐れが考えられたため			処置理由	打音検査で落下の恐れが考えられたため			処置理由	
処置内容	点検ハンマーによる叩き落し			処置内容	点検ハンマーによる叩き落し			処置内容	
申送事項				申送事項				申送事項	

<処置前>



<処置前>



<処置前>

・写真番号は調書（その7）にて付された番号をそのまま踏襲する

<処置後>



<処置後>



<処置後>



詳細点検調書（その11） 第三者被害予防措置点検記録

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)		点検者名	△△▲▲	所在地
								起	◎◎区◆◆町●-▲
								終	◎◎区◆◆町●-▲

位置記号	導流部A	RWa2	仕上状況	R/L外仕上げ	特記事項
------	------	------	------	---------	------

・第3者被害予防措置に特化した調書であるので、調書（その6）などの損傷図をアレンジして作成してもよい。

・部位が特定できるようにキープラン図を貼付すること

**凡例**

□	遠望目視及び非破壊検査で異常なし (A1)
▨	打音検査清音部 (A2)
▧	落下しなかった箇所 (B)
■	落下した箇所 (C)
▨	打音検査不可能 (P)
□	既補修部 (R)

第 三 者 被 害 予 防 措 置 点 検 記 録

17

E判定会議調書（その12）

管理番号	UP-◎◎-●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●アンダーパス	延長	186.7m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	JR▲▲▲線
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)			点検者名	△△▲▲
								所在地	起 ◎◎区◆◆町●-▲ 終 ◎◎区◆◆町●-▲

前回点検結果				前回点検結果				前回点検結果			
写真番号	1			写真番号				写真番号			
位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号		部材記号		位置記号		部材記号	
損傷種類	④	損傷評価	e	損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価	
メモ	うき	対策判定		メモ				メモ			
<p>• 前回写真は、前回調書（その7）の番号をそのまま踏襲する</p> <p>• 前回点検時に損傷がなく、新たに損傷が発見された場合は、前回点検結果欄は、空白でよい。</p> <p>• 写真は、調書（その7）で付された番号をそのまま踏襲すること。</p>				<p>• 本調書に掲載する損傷は、対策判定を検討することが前提となるため、損傷評価が「d」「e」のもののみ抽出すること</p> <p>• 前回の対策判定結果がわかるものは記入すること</p> <p>• 不明の場合は記入不要</p>				<p>• 本欄は、E判定会議開催時に対策判定を決定するので、会議後にフィードバックすること</p>			
今回点検結果				今回点検結果				今回点検結果			
写真番号	8			写真番号				写真番号			
位置記号	導流部A	部材記号	RWa2	位置記号		部材記号		位置記号		部材記号	
損傷種類	④	損傷評価	e	損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価	
メモ	うき	対策判定	e-4	メモ		対策判定		メモ		対策判定	

詳細点検調査(その13) 損傷数量一覧表

番号	位置記号	部材記号	①-1ひび割れ(幅×延長)(mm)(RC構造)			①-2ひび割れ(幅×延長)(mm)(PC構造)			②漏水・遊離石灰(m2)			③剥離・鉄筋露出(m2)			④浮き(m2)			⑤コンクリート補強材などの損傷(m2)			⑥腐食(m2)			⑦亀裂(幅×延長)(mm)		⑧ゆるみ・脱落(箇所)		⑨破断(箇所)	⑩異常な音・振動・たわみ(箇所)	⑪変形・欠損(箇所)		⑫漏出・耐水(箇所)		⑬土砂詰り(箇所)	⑭目地の損傷・漏水(m2)		⑮路面の凹凸・ポットホール(m2)		
			b	c	d	b	c	d	c	d	e	c	d	e	c	d	e	b	c	d	e	c	e	c	e	e	e	c	e	c	e	c	d	e					
			0.2mm未満	0.2mm以上0.3mm未満	0.3mm以上	0.1mm未満	0.1mm以上0.2mm未満	0.2mm以上																															
1	道流部A	Rwa2	・(その8)及び(その9)の調査に記載している定量的値とリンクさせること。																																				
2	道流部A	Rwa2	0.1 × 400						0.25																						1								
3	道流部A	Rwa2																																					
4	道流部A	Rwa2																																					
5	道流部A	Rwa2																																					
6	道流部A	Rwa2																																					
7	道流部A	Rwa2																													0.200								
8	道流部A	Rwa1													0.160																								
9	道流部A	Rwa1																								1								0.100					
10	道流部A	Rwa2																																					
11	道流部A	Rwa2	0.25 × 600																																				
12	道流部A	Rwa2	0.25 × 400												0.250																2								
13	道流部A	Rwa2																																					
14	道流部A	Rwa2	0.2 × 200																																				
15	道流部A	Rwa2	0.2 × 700															0.100																					
16	道流部A	Rwa2				0.3 × 1000																																	
17	道流部A	Rwa2																																0.10 × 200					
18	道流部A	Rwa2																											2										
19	交差部B	Rwa1																																					
20	交差部B	Rwa2																								3													